

第1回 名古屋城三の丸地区まちづくり構想有識者懇談会

日時：令和6年9月9日(月)10:30～12:00

場所：名古屋市公館 1階 レセプションホール

次 第

1. 開会

2. 住宅都市局長あいさつ

3. 出席者紹介

4. 議事

議事1. まちづくり構想策定に向けて

議事2. 今後の進め方

5. その他

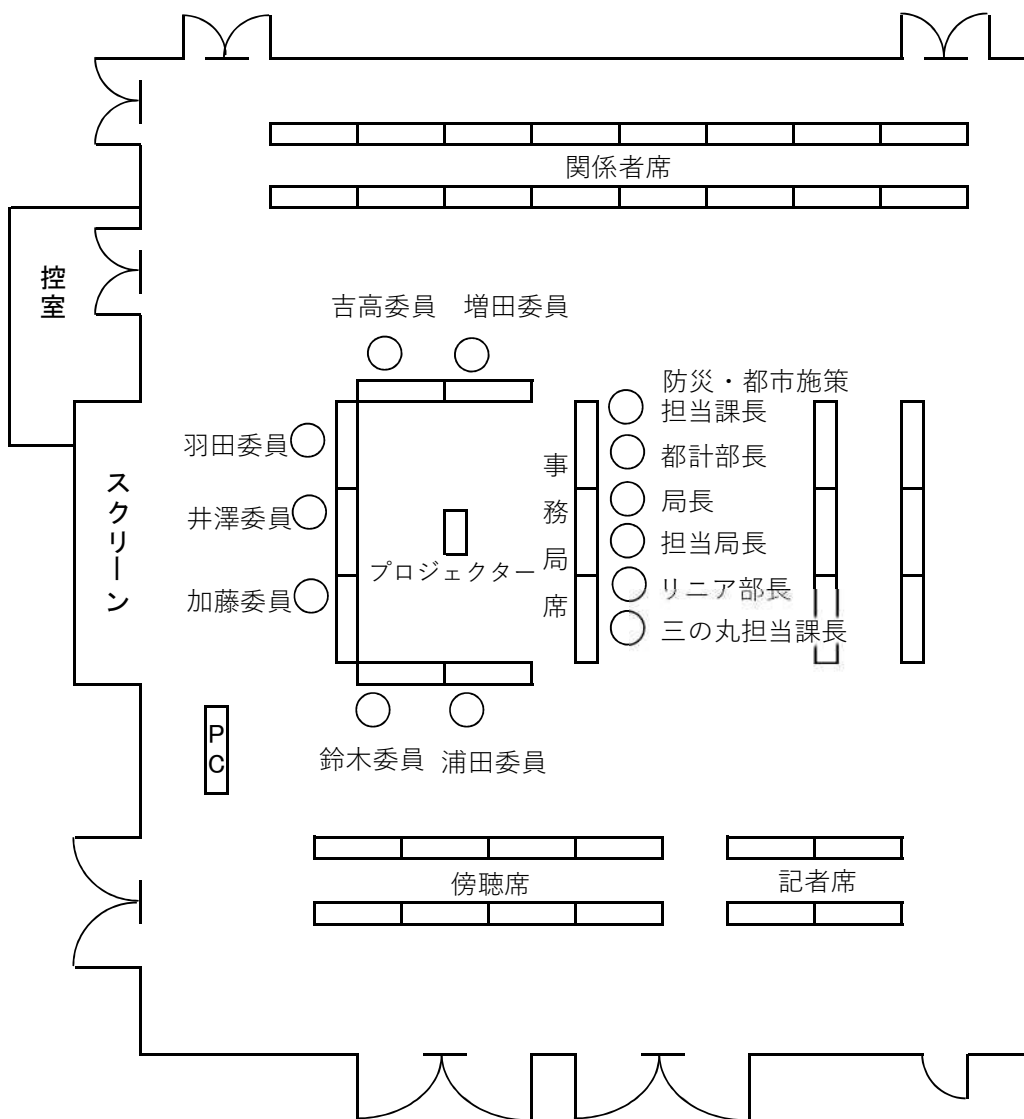
- ・三の丸クリーンアップ
- ・三の丸チャレンジ（社会実験）

《配布資料》

- ・配席表
- ・委員名簿

配席図

名古屋市公館 1F レセプションホール



正面玄関

名古屋城三の丸地区まちづくり構想有識者懇談会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏名	所属
井澤 知旦	名古屋学院大学 名誉教授
浦田 真由	名古屋大学大学院 情報学研究科准教授
加藤 義人	岐阜大学 客員教授
鈴木 弘司	名古屋工業大学大学院 工学研究科教授
羽田 俊之	独立行政法人都市再生機構 中部支社 都市再生業務部長
増田 幸宏	芝浦工業大学 環境システム学科教授
吉高 まり	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 フェロー (サステナビリティ)

名古屋城三の丸地区まちづくり構想有識者懇談会

(第1回)

- ・開催日：9月9日（月）
- ・時間：10時30分～12時
- ・場所：名古屋市公館 1階 レセプションホール

議事1.まちづくり構想策定に向けて

1.はじめに

①全体構成のイメージ

構想素案とりまとめに向け、まちづくり構想の全体構成を以下のようにイメージしている。

1.はじめに

構想策定の背景、目的、構想の役割、対象範囲 など

2.地区の特性(現状・課題)

立地特性、都市基盤、地域資源、各種規制 など

3.新たな潮流や社会情勢の変化等

新たな潮流や社会情勢の変化、まちづくりの方向性 など

4.めざすまち

5.めざすまちの実現に向けて

- まちづくりの進め方
- 組織・推進体制
- アクションプラン(特に短期(~今後10年間)) など

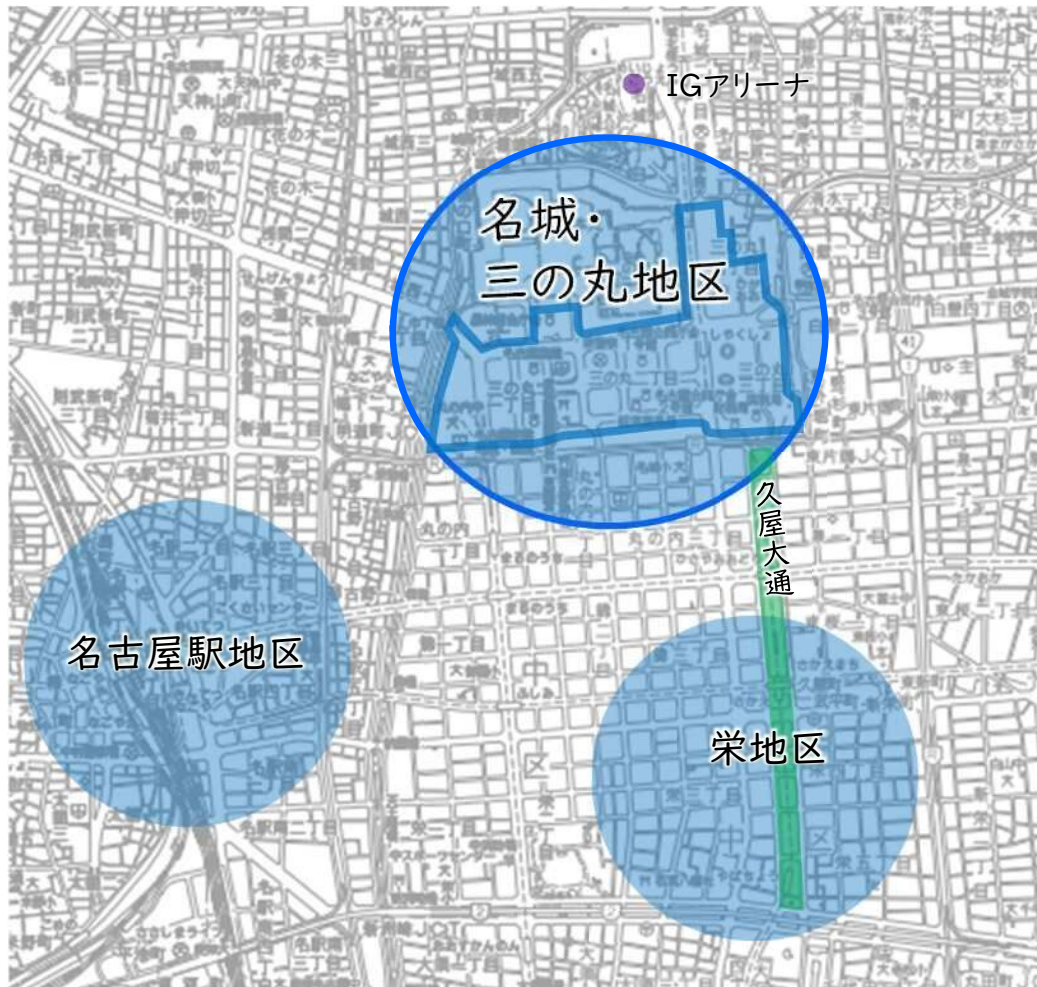
今回

次回

1.はじめに

②まちづくり構想の策定の背景・目的

- ▶ 久屋大通や愛知県新体育館 (IGアリーナ) など地区周辺で魅力向上が進んでいる。地区内の建物が更新期を迎える機会を捉えて、地区の魅力向上を図り、周辺地区との連携を強化し、リニア時代のあいち・名古屋の新たな顔として地区を成長・発展させていくため、新たな潮流等を踏まえて、めざすまちやまちづくりの進め方などを示すものとして策定する。



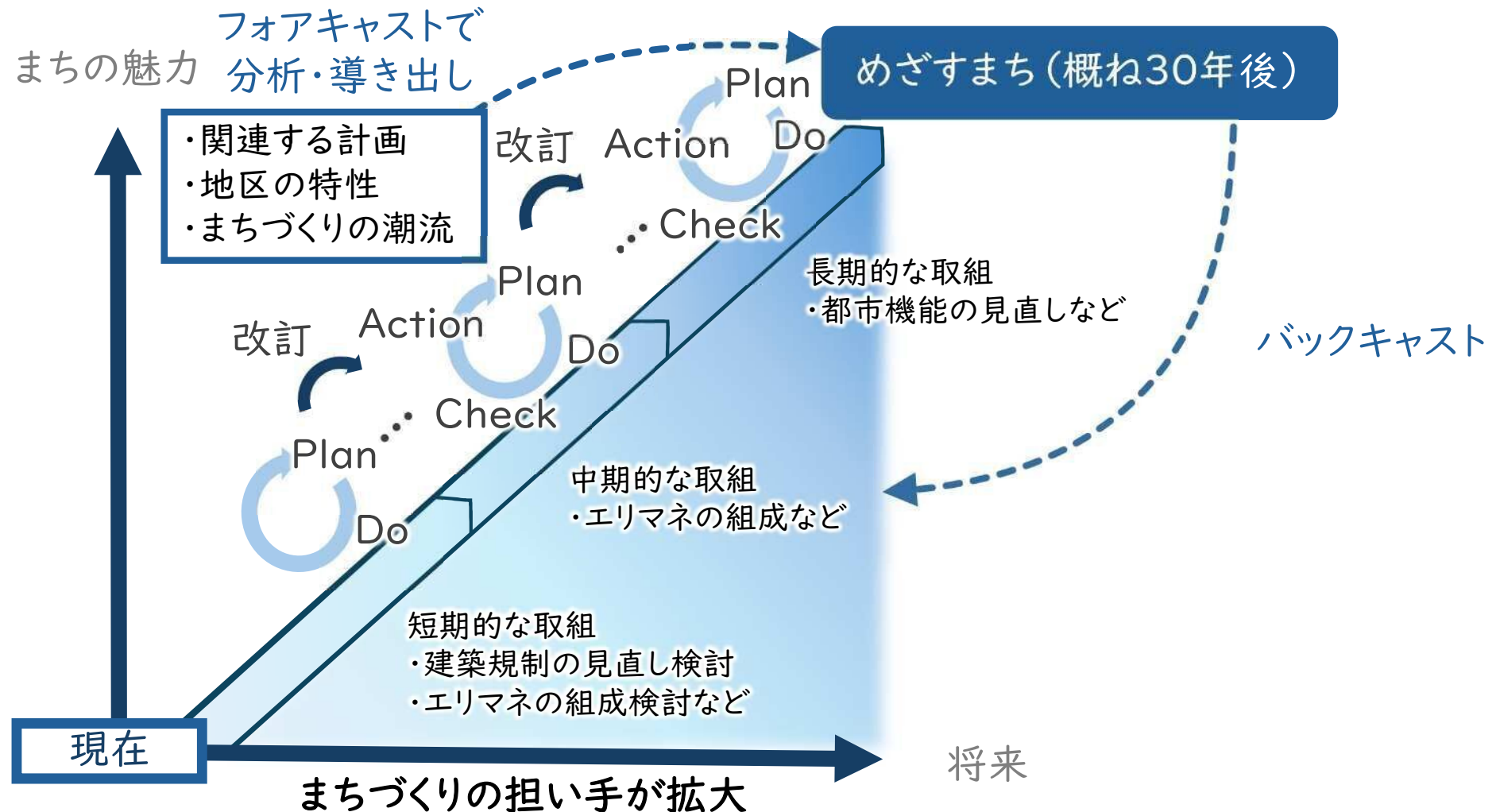
出典:IG Arena HPより



1.はじめに

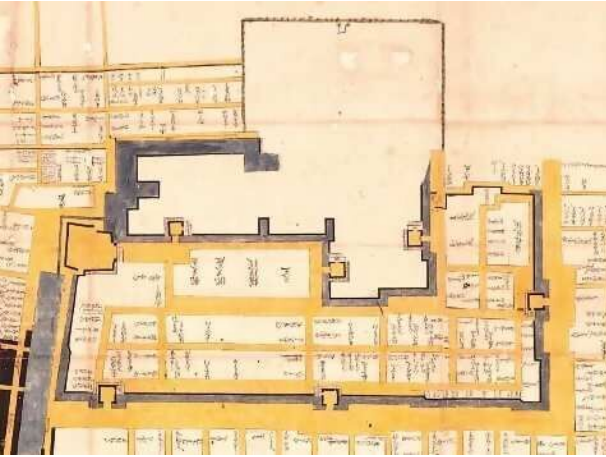
③まちづくり構想の役割

- 地区の特性や新たな潮流等より、めざすまちを導き、バックキャストでめざすまちを実現するためのアクションを明確にし、関係者を増やしながらかつてまちづくりを進めるための指針としての役割を担う。
- まちの変化やニーズを的確に把握しながら、段階的にめざすまち（概ね30年後）を実現していくための指針であり、改訂（バージョンアップ）していく。

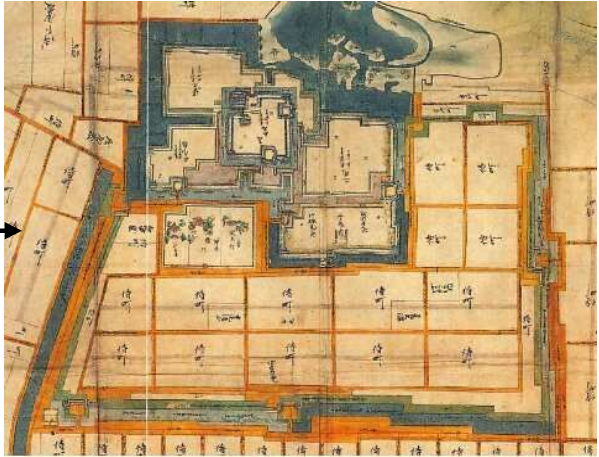


2. 地区の特性

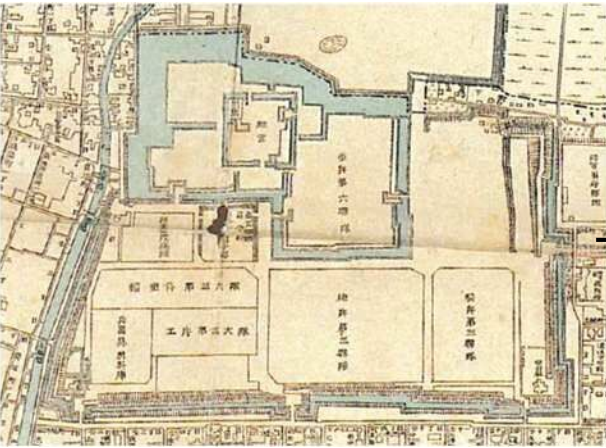
① 土地利用の変遷



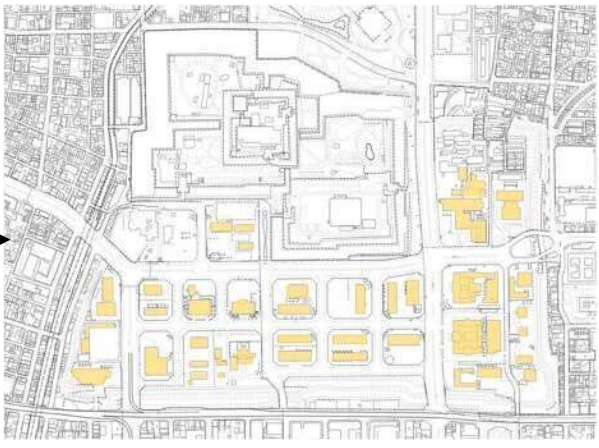
名古屋城築城に合わせた地割で
武家屋敷を配置



武家屋敷が立地



廃藩置県後は陸軍用地



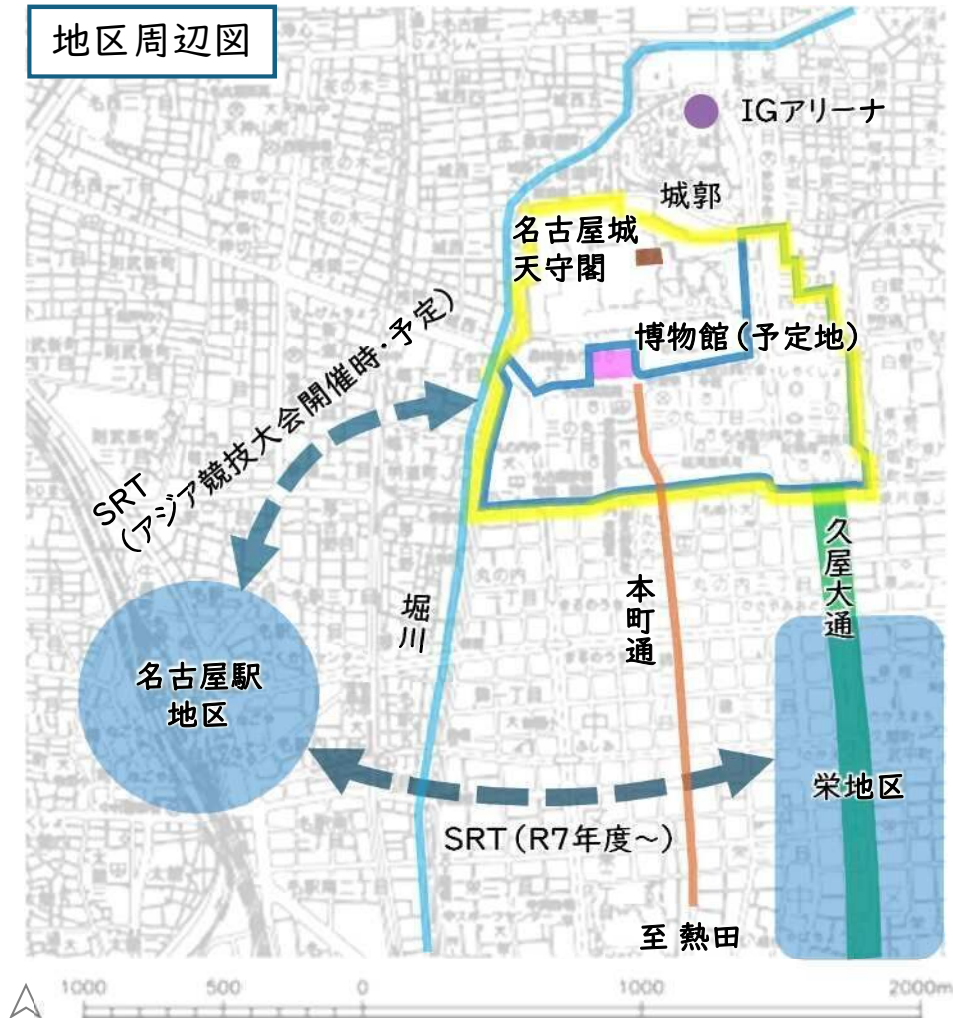
終戦後は官庁街

〈現状〉

- ・当地区は、縄文時代以前に海底に堆積した地層が海面の低下で地上に現れたものであり、堅固な地盤を有する。
- ・1610年に徳川家康が、名古屋城の築城とともに尾張の中心であった清須の城下町を災害に強い当地区へ移した際に（清須越）、地割と町割が行われ、当地区は尾張藩の重臣の武家屋敷地を形成
- ・廃藩置県の後には、全て国有地となって、陸軍用地として使用された
- ・終戦後は、戦災地復興計画基本方針により官庁街として活用している

2. 地区の特性

②立地



〈現状〉

- ・城郭内に立地
- ・名古屋駅、栄に近い(2km圏内)
- ・久屋大通の再整備により、賑わいや人の流れが近くまで来ている
- ・本市の重要な歴史軸である本町通が通っている
- ・地区の西側に堀川が流れている
- ・将来的には名古屋城天守閣木造復元や博物館の開業により魅力向上が進む
- ・IGアリーナがR7年度に開業予定
- ・SRTでは、周回ルートの一部である名古屋駅-名古屋城間の運行について、アジア競技大会開催時の導入を目指している

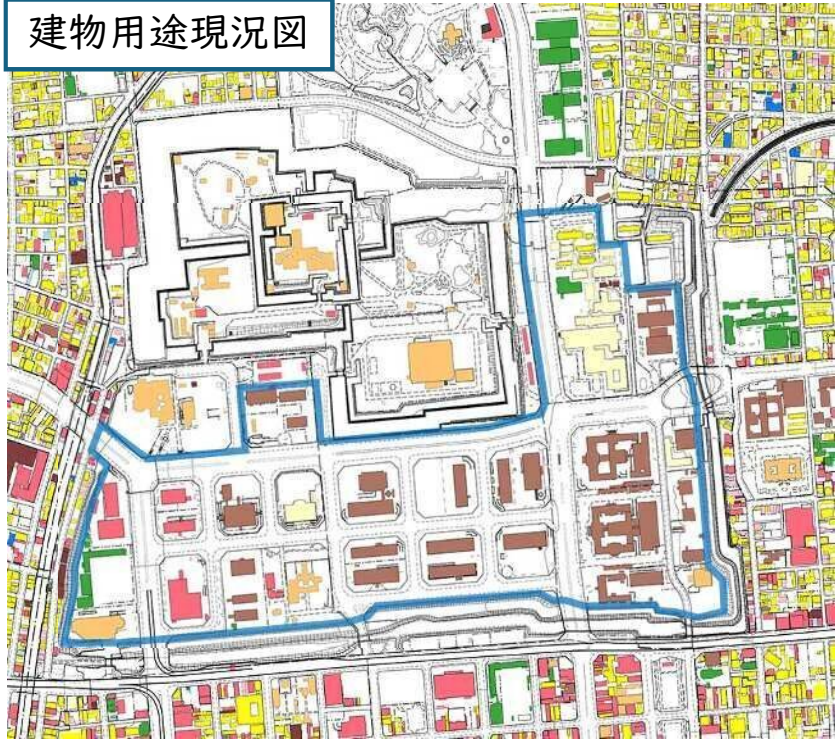
〈課題〉

- ・地区内での開発機運
- ・周辺地区との連携
- ・歴史的な雰囲気を感じづらい

2. 地区の特性

③ 建物用途

建物用途現況図



人口流動図



平日14時



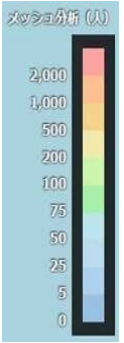
平日20時



休日14時



休日20時



出典: RESAS (地域経済分析システム) - まちづくりマップ = 流動人口 = (R5.5)

凡例		
官公庁施設	娯楽施設 (I)	農漁業施設
教育施設	娯楽施設 (II)	公園、オープンスペース
宗教施設、文化施設	供給処理施設、運輸施設	墓地
医療養護施設	工業施設	その他
商業施設	工業的サービス施設	
一般店舗施設、商業的サービス施設	住居施設	

〈現状〉

- ・官公庁施設が大半をしめる
- ・自由な目的で来る人が少ない
- ・空間的なゆとり (低未利用地)
- ・平日の夜間、休日には人が少ない

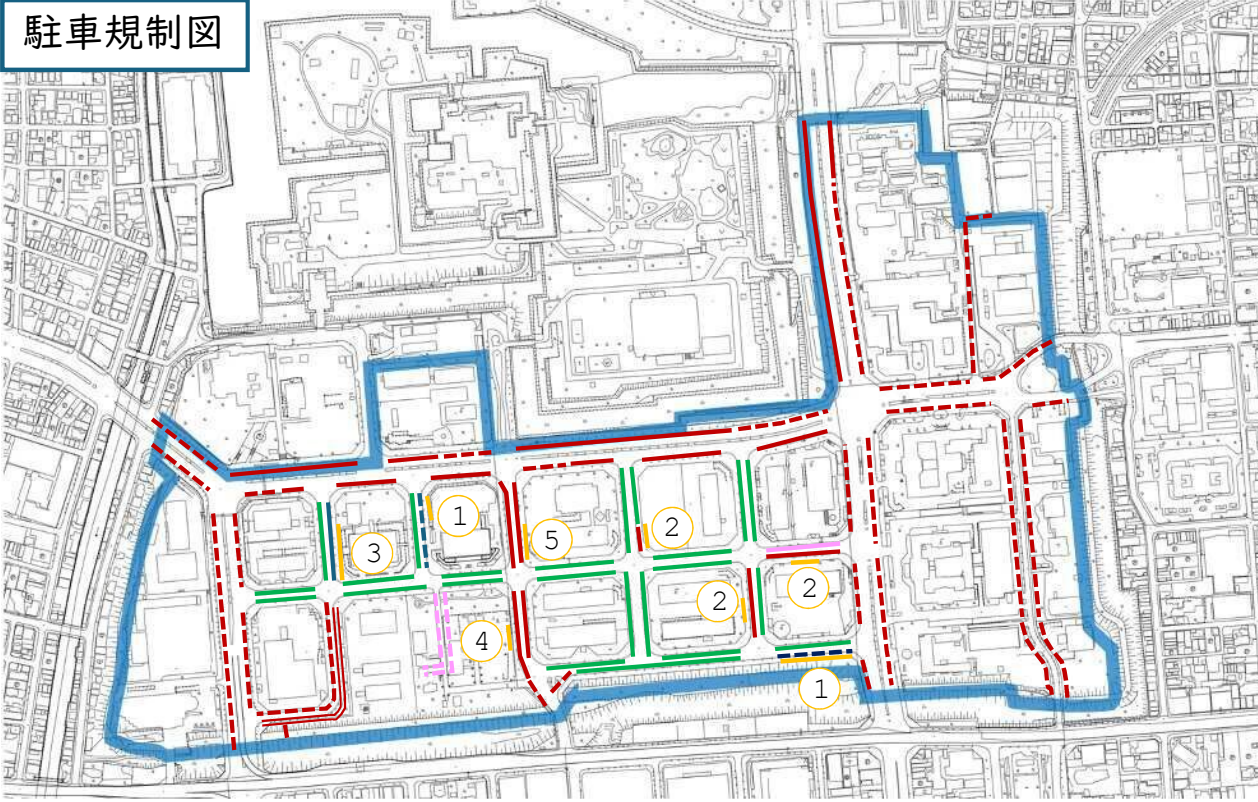
〈課題〉

- ・多様な都市機能の導入
- ・低未利用地の有効活用

2. 地区の特性

⑤ 都市基盤 (道路)

駐車規制図



- 〈現状〉
 - ・道路空間が広く、幹線道路沿い等を除き駐車規制が緩和

- 〈課題〉
 - ・道路空間の有効活用



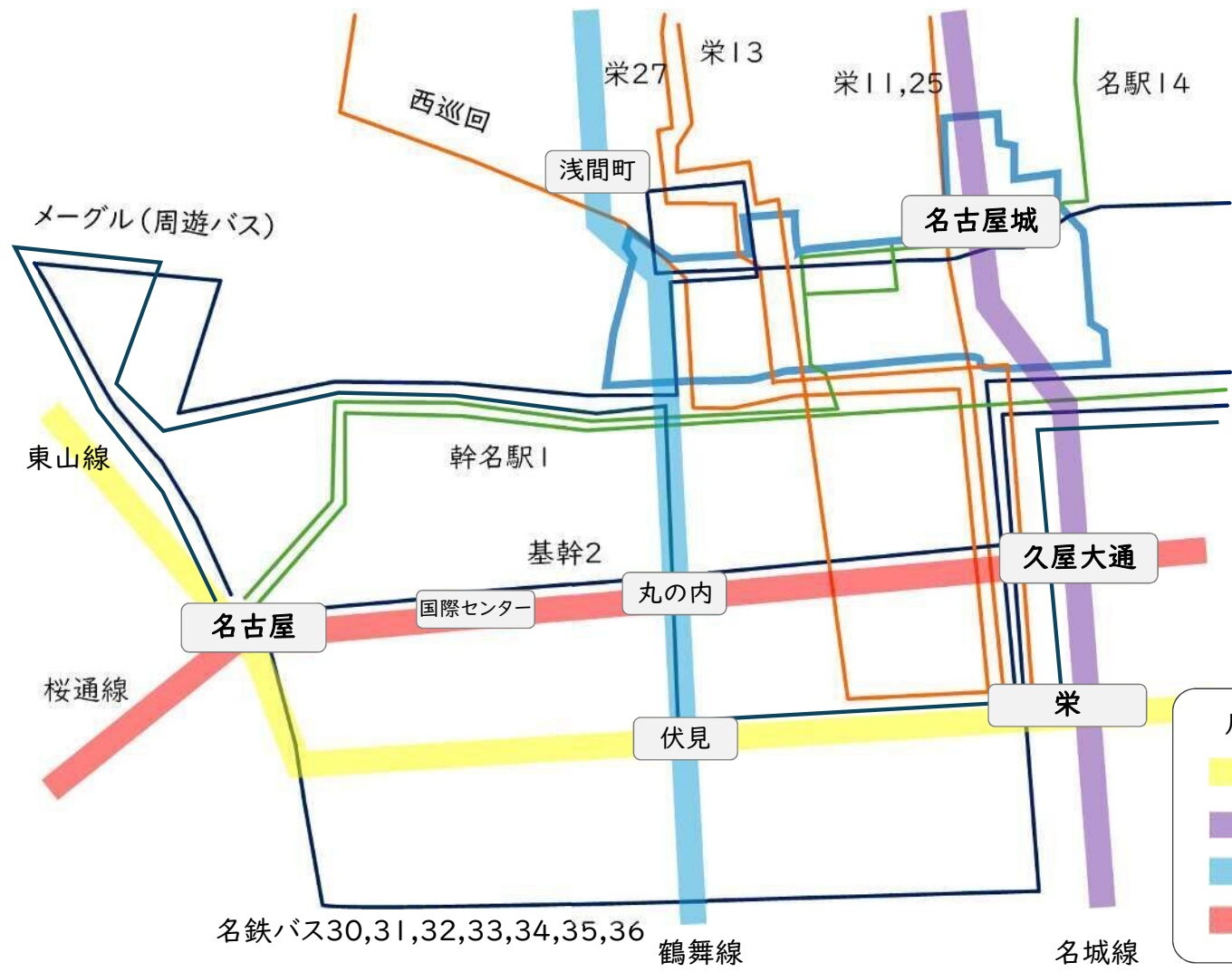
凡例 (規制時間帯)

----- 終日	----- 午前7時～午後7時までの間 (土曜・日曜・休日を除く)
----- 終日 (土曜・日曜・休日を除く)	----- ① 高齢者等専用駐車枠 (終日、午前7時～午後8時までの間)
----- 終日 (新聞輸送のための貨物自動車を除く)	----- ② タクシー専用駐車枠 (終日、土曜・日曜・休日を除く)
----- 午前7時～午前10時までの間 (土曜・日曜・休日を除く)	----- ③ タクシー専用駐車枠 (午前7時～午後8時までの間、土曜・日曜・休日を除く)
----- 午前7時～午後8時までの間	----- ④ タクシー専用駐車枠 (午前10時～午後6時までの間、土曜・日曜・休日を除く)
----- 午前7時～午後8時までの間 (土曜・日曜・休日を除く)	----- ⑤ タクシー専用駐車枠 (午後5時～午後8時までの間、土曜・日曜・休日を除く)
----- 午前7時～午後7時までの間	

2. 地区の特性

⑥都市基盤（公共交通機関）

公共交通機関の図



〈現状〉
 ・名古屋駅から名古屋城までの所要時間は、地下鉄を利用して約10分だが、乗換えが必要

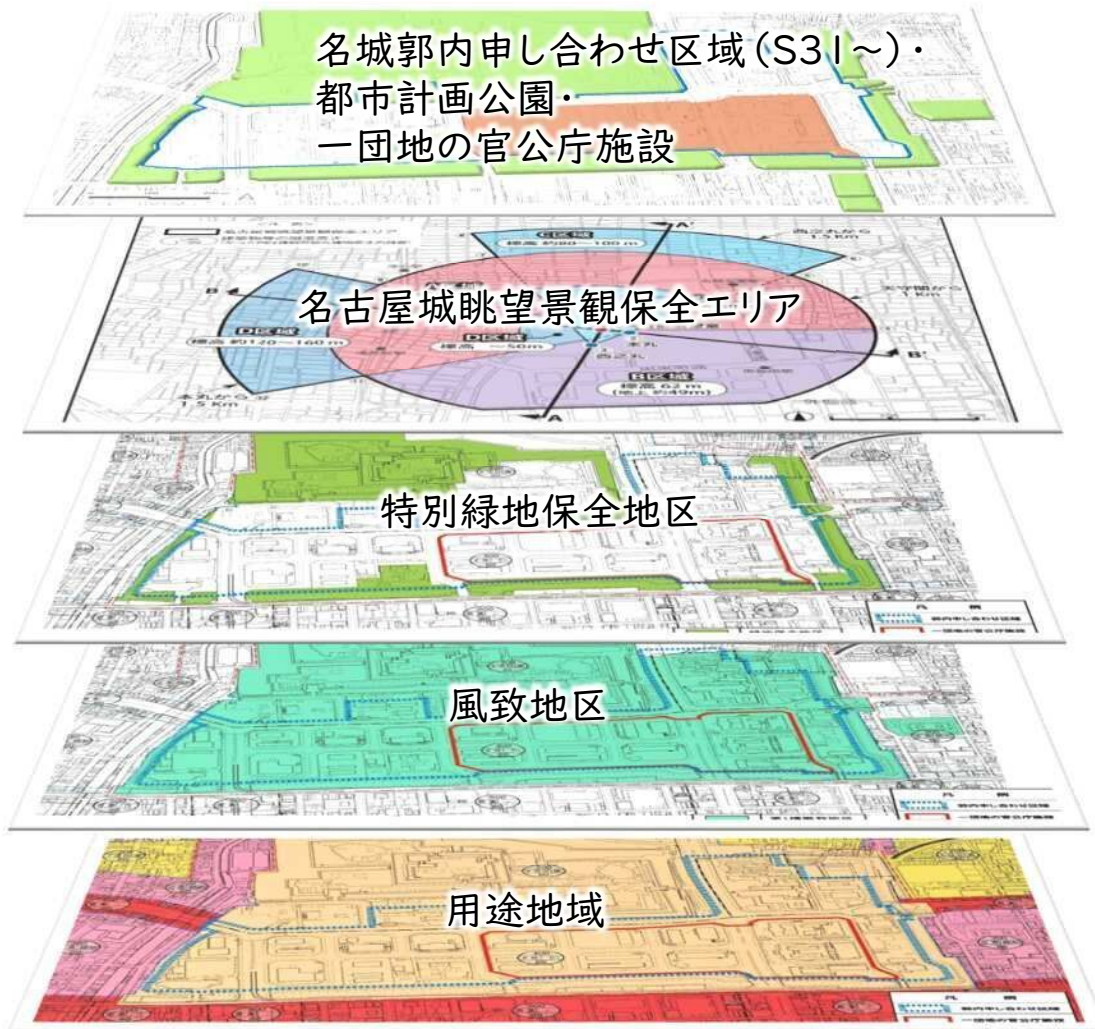
〈課題〉
 ・名古屋駅からのアクセス性向上

凡例	
	地下鉄東山線
	地下鉄名城線
	地下鉄鶴舞線
	地下鉄桜通線
	バス(栄経由)
	バス(名古屋駅経由)
	バス(名古屋駅・栄経由)

2. 地区の特性

⑦空間利用

各種規制等



〈現状〉

- ・各種規制によって整然としたみどり豊かな官庁街を形成
例) 建蔽率35%以下
壁面後退15m、前庭設置
地上約49mまで
住居用途は禁止
- ・未利用容積が多い

〈課題〉

- ・将来的な庁舎更新を見据えた規制のあり方
- ・民間参入のハードルとならないルールづくり



2. 地区の特性

⑧文化財

名古屋市役所本庁舎(重要文化財)



外観



中央広間

〈現状〉

- ・地区及び周辺には文化財があるが、利用が限定的

〈課題〉

- ・更なる文化財の利活用、発信

市政資料館(旧名古屋控訴院庁舎)
(重要文化財)

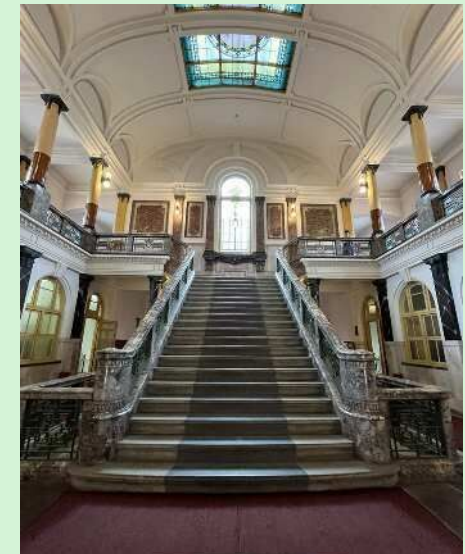
愛知県庁本庁舎(重要文化財)



外観(出典:愛知県 HPより)



外観



中央階段

2. 地区の特性

⑨公園・みどり



名城公園(②)



名城公園(③)



あじさい(①)



名城公園(④)



さくら(⑤)

〈現状〉

- ・都心部の中では、みどりが多く、様々な動植物が生息

〈課題〉

- ・区域内の名城公園の利活用
- ・地区内から名古屋城が見える場所が限定的
- ・鳥による被害

【意見交換事項①】

- ・地区の特性で深掘りが必要な項目は？
- ・他に考えられる地区の特性は？

3. 新たな潮流や社会情勢の変化等

①三の丸に期待される役割

➤ マクロやミクロの視点で見ても、当地区には期待される役割は大きい

中部・愛知の中の三の丸

中部圏の行政中枢機能、歴史・観光資源の集積を活かし、防災・観光面で地区の強みをさらに高め、圏域を牽引していく役割を果たす必要がある

- 中部圏広域地方計画 (H28)
 - ➔ 大規模自然災害時の広域連携支援体制の司令塔機能
 - ➔ 名古屋城をはじめとした城郭などの歴史観光資源を活かし、広域観光交流を促進
- 愛知県地域強靱化計画 (R2)
 - ➔ 大規模地震・津波災害が発生した場合にはヘッドクォーター機能としての役割
 - ➔ 応急対応に不可欠な基幹的広域防災拠点の整備を推進する
 - ➔ 首都圏が被災した場合のバックアップ機能や他地域が被災した場合のサポート機能を担う役割
- 東京一極集中の是正に向けた地域の機能強化と魅力向上に関する提言 (R3)
 - ➔ 名古屋城と都心部を結ぶ好立地で、名古屋都心部の魅力・吸引力を高める
 - ➔ 首都圏で有事の際の代替機能を担う

名古屋市の中の三の丸

名古屋市の将来の都市構造において、注力していく「縦軸のまちづくり」の拠点の一つであり、他の拠点と広域的な連携や高次な都市機能の集積を図る

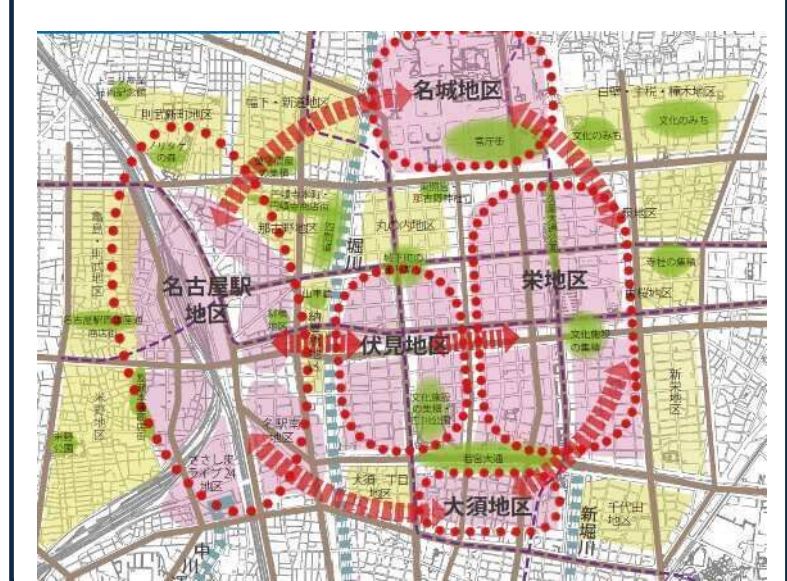
- 名古屋市総合計画2028 (案)
 - ➔ 名古屋の歴史・文化などの地域資源に根ざした拠点
 - ➔ 歴史遺産等を活用した名古屋独自の魅力づくり (歴史・文化魅力軸の形成)



名古屋都心部の中の三の丸

名古屋のまちづくりの礎たる歴史・文化資産を様々な形でまちづくりに活用するとともに、他の拠点と連携強化し、賑わいを都心全体に広げ、都市の回遊性を向上させる

- 名古屋市都心部まちづくりビジョン (H31)
 - ➔ 名城地区と久屋大通の間の分断を解消し、来訪者の賑わいを結ぶ



3. 新たな潮流や社会情勢の変化等

② 新たな潮流や社会情勢の変化

➤ リニア時代のあいち・名古屋の新しい顔として地区を成長・発展させていくため、新たな潮流等を踏まえて、めざすまちやまちづくりの進め方などを検討する。

- 新たな潮流や社会経済情勢の変化 -

社会経済情勢の変化

- ・少子高齢化、人口減少
- ・働き方改革
- ・リニア開業による交流圏拡大

テクノロジーの進展

- ・イノベーションの創出
- ・DXの推進
- ・モビリティ革命
- ・Society5.0
- ・スマートシティ

“人”中心のまちづくり

- ・ウォークアブル
- ・MaaSの活用

国際競争力の強化

- ・観光ニーズの多様化
- ・官民共創のまちづくり

持続可能な社会に向けた動き

- ・SDGs、生物多様性
- ・カーボンニュートラル、脱炭素社会
- ・ダイバーシティ

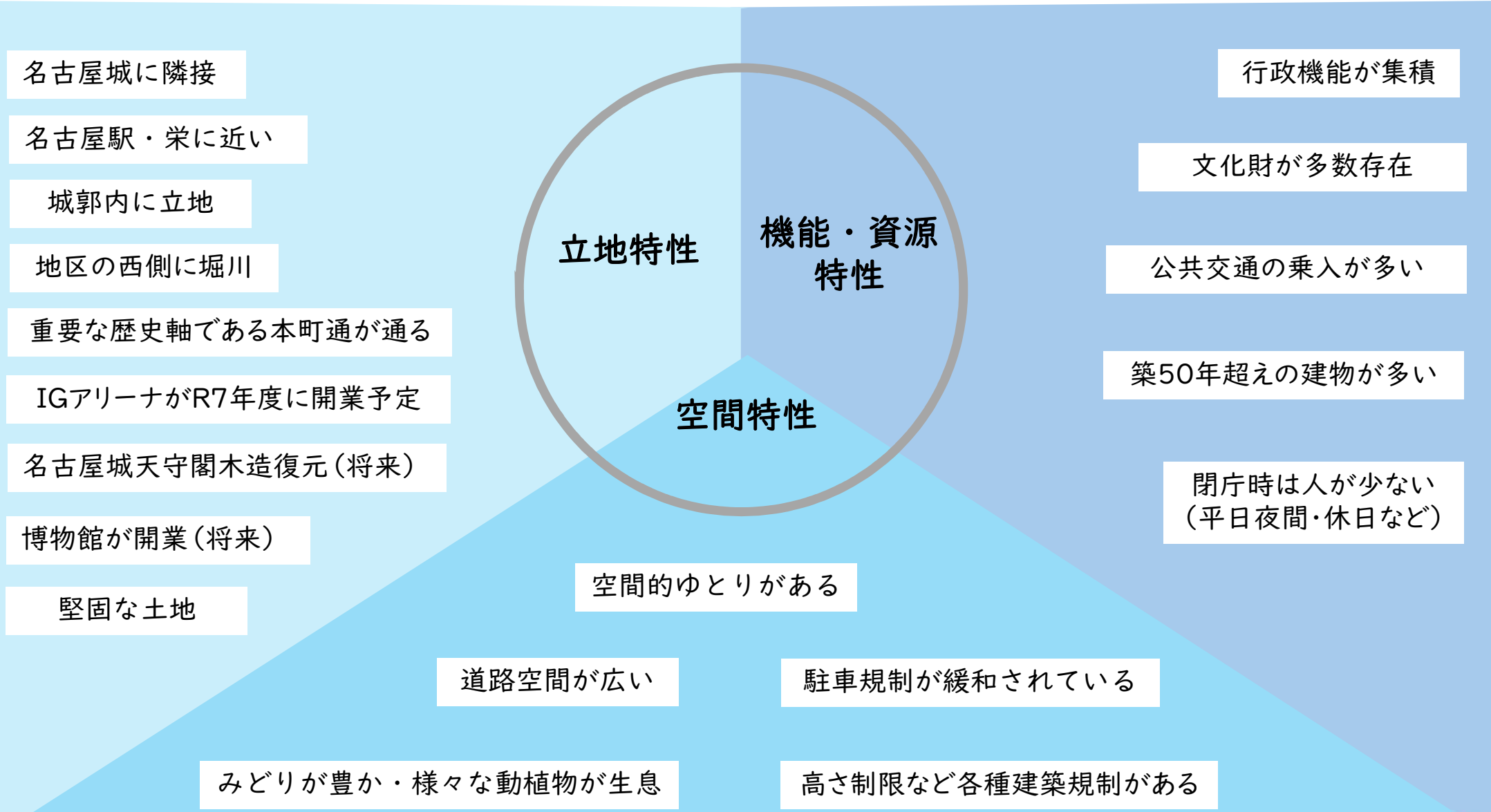
安全・安心の確保

- ・切迫な大規模地震発生
- ・気候変動に伴う災害の激甚化・頻発化
- ・レジリエンスの向上

3. 新たな潮流や社会情勢の変化等

③地区の特性まとめ

▶ まちづくりの方向性を考えるうえで、2. 地区の特性から重要となるエレメントを以下に整理する。



3. 新たな潮流や社会情勢の変化等

④めざすまちの重要な視点・方向性

➤ 名古屋城三の丸地区に期待される役割、新たな潮流や社会情勢、地区の特性を踏まえると、めざすまちの方向性は以下が考えられる。

まちづくりの重要な視点

ウォークブル

ダイナミック

サステナブル&
レジリエンス

めざすまちの方向性

あいち・名古屋らしさを体感できるまち

おもてなしに溢れるまち

社会を牽引するまち

回遊性を生み出すまち

環境と共生するまち

世界から人や企業が集まるまち

安全で安心な拠点を形成するまち

【意見交換事項②】

- ・三の丸でまちづくりを進めていくうえで重要な考え方は？
- ・まちづくり構想を検討していく上で、考慮すべき新たな潮流や社会経済情勢の変化は？
- ・めざすまちの実現時期（概ね30年後）は、各専門分野でどんな未来になっているか？
- ・以上を踏まえ、三の丸地区ではどんなまちをめざしていくべきか？

議事2. 今後の進め方

令和6年度

8月～ 庁内会議、地権者等意見聴取

第1回 有識者懇談会 (R6.9.9)

- ・地区の特性について
- ・新たな潮流や社会情勢の変化等について

10月～ 庁内関係課や地権者等への意見聴取・調整等

第2回 有識者懇談会 (R7.2頃) (予定)

- ・めざすまちについて
- ・めざすまちの実現について

3月～ 庁内関係課や地権者等への意見聴取・調整等

第3回 有識者懇談会 (R7.10頃) (予定)

- ・まちづくり構想案について

令和7年度

必要な手続きを経て、令和7年度末を目途に策定予定

- ・三の丸クリーンアップ
- ・三の丸チャレンジ(社会実験)

○三の丸クリーンアップ



街をきれいにしよう！

三の丸クリーンアップ

毎月30日を「三の丸の日」とし、清掃活動を行っています。一緒に活動してみませんか。

○音楽×重要文化財による賑わい創出

日時：11月2日(土)10時~16時
11月3日(日)10時~16時

場所：市役所本庁舎駐車場

内容：ストリートピアノ
参加型ワークショップ
キッチンカー
テーブル等什器設置

(注)ストリートピアノ以外は11/2実施



ストリートピアノ

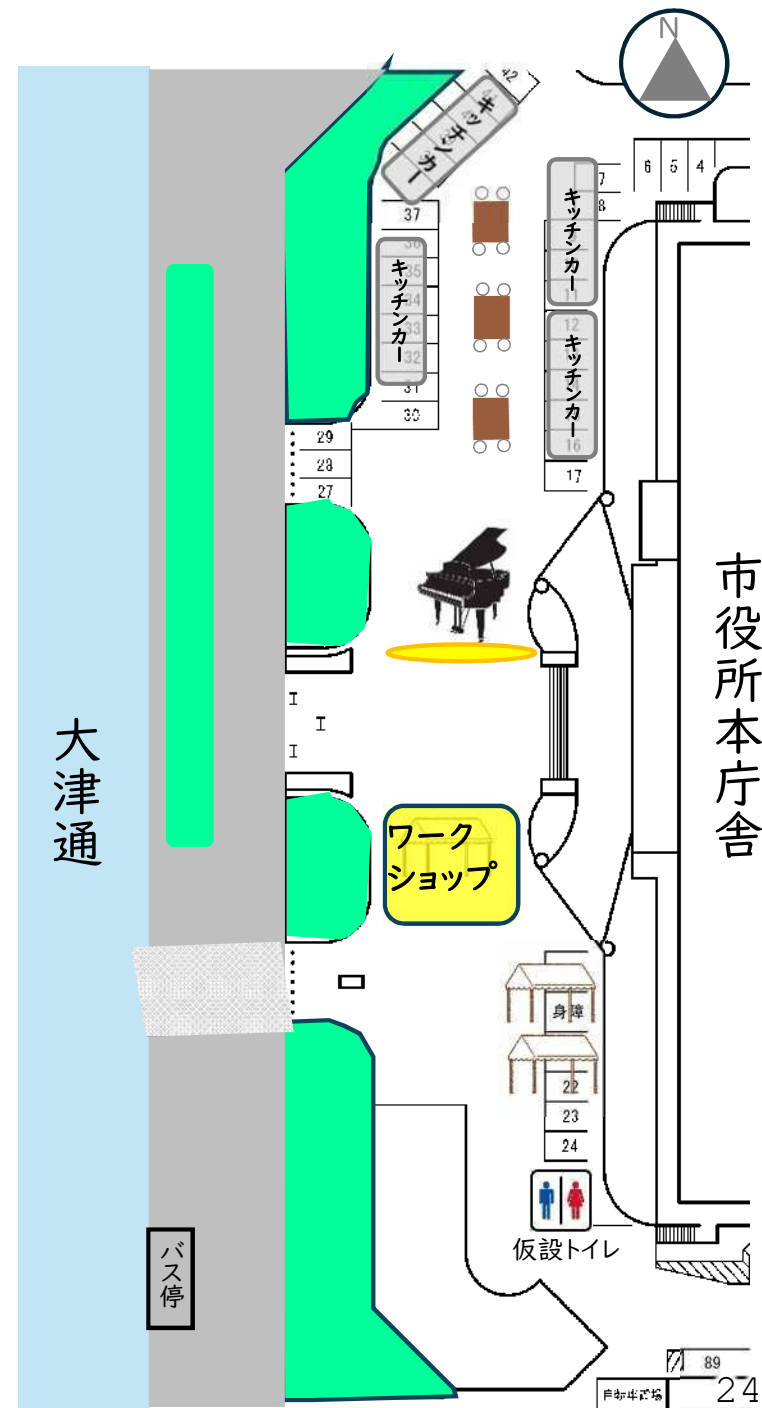
・著名人(例:Youtuber等)による演奏



参加型ワークショップ

・日用品で楽器を製作、演奏

(注)写真はいずれもイメージ

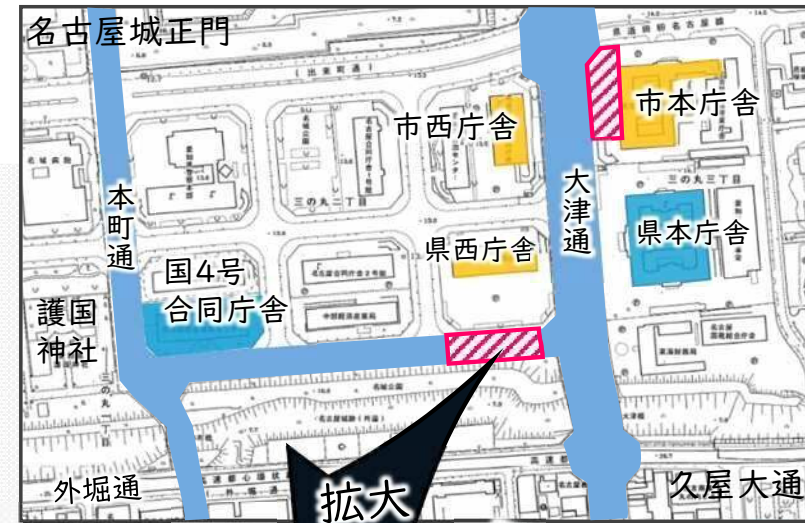


○道路空間を利活用した賑わい創出

日時: 11月3日(日) 10時~16時

場所: 市道公館東西第1号線
(愛知県西庁舎南側道路)

内容: 学生製作のメディ屋台
シバフ設置による憩い空間
キッチンカー、什器設置



約100m

拡大



「メディ屋台」とは

- ・繋がるメディア(媒体)としての屋台
- ・名古屋学芸大学の学生が各々で企画 (一例: 似顔絵を描く, マジック披露)
- ・国4号合同庁舎の建替に関し、庁舎広場の利活用を大学と連携して検討



滞在イメージ

